

1. 6月全国行事

- | | |
|---------------|------------|
| 1) 全国安全週間準備月間 | 6月1日～6月30日 |
| 2) 環境月間 | 6月1日～6月30日 |
| 3) 環境の日 | 6月5日 |
| 4) 危険物安全週間 | 6月2日～6月8日 |

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「5月病」に注意 新入・転入者

3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

4. 他社 事故・災害事例から : 鋼材に玉掛けワイヤーが触れて崩壊

5. ヒヤリハット事例 : 重量物を台車で移動中、側溝に落ちそうになりヒヤリ

2. 安全・衛生・防災の心得 : 「5月病」に注意 新入・転入者

～気持ちや態度を理解してあたたかく指導～

・5月初めの連休明けには「5月病」という文字や言葉がマスコミなどで取り上げられます。

「5月病」は医学的には正式名称ではなく、4月に進学、就職、部署異動などで環境が大きく変わったこと、また、連休中の生活のリズムの乱れなどによってストレスを感じてしまい、うつ状態になる精神的症状をさします。医学用語では「適応障害」と呼ばれています。

「5月病」(適応障害)の主な症状としては、次のことが挙げられています。

精神的な症状として 抑うつ・不安感・焦りやいらだち・無気力感、など。

肉体的な症状として 胃の痛み・めまい・動悸・呼吸の浅さ・食欲不振・不眠、など。

「うつ」と似たような症状ですが、これらの症状が続くようであれば、心療内科や精神科などの受診が勧められています。特に「5月病」は睡眠のリズムの乱れが大きいと専門家は忠告しています。

職場では新人・転入者等に次のような原因でストレスが発生するので注意が必要です。

- ①新しい環境についていけない。
- ②新しい人間関係がうまくいかない。
- ③入試や入社、昇進といった大きな目標を達成し、次の目標が見つからない燃え尽き感。
- ④イメージしていた理想と実際のギャップ。

新入・転入者の気持ちや態度を理解し、指導することが肝要です。



3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

●平塚第二工場熱処理工場

- ・フォークリフトにドライブレコーダーを取付けて安全運用に努めていること



●古河工場

- ・フォークリフト置き場が明確になり、積載荷重も表示されていた



4. 他社 事故・災害事例から : 鋼材に玉掛けワイヤーが触れて崩壊

～ワイヤーを低い位置に吊るして移動～

(1)災害のあらまし

- ・この現場に1年前に配属された作業者(男性・21歳)がH鋼材を工作場に運搬するため、鋼材置き場でペンダントスイッチを操作して天井走行クレーンを吊り上げ位置まで移動中、フックに吊るした玉掛けワイヤーが積んであったH鋼材に引っかかって鋼材が崩れ、下敷きとなって死亡したものです。

(2)災害の主な原因

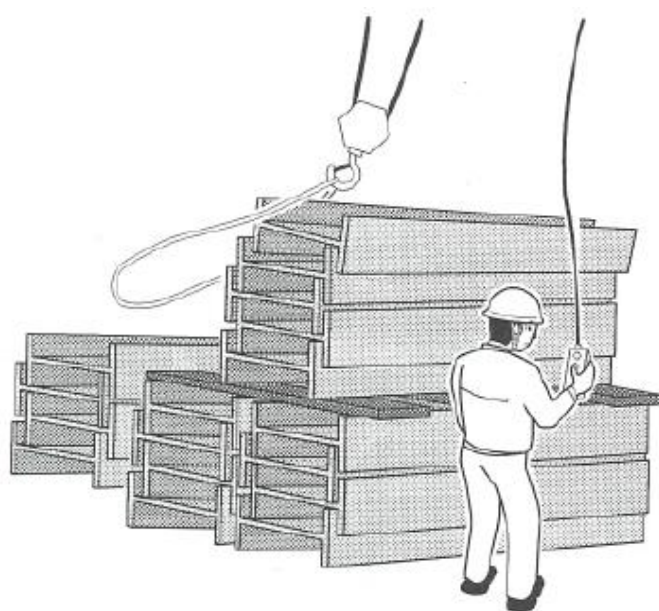
- ①玉掛けワイヤーを、低い位置に吊るしたまま移動(禁止事項)していたこと。
- ②このような悪習慣がこれまで黙認されていたこと。
- ③クレーン操作者の安全な歩行経路が定められていなかったこと。
- ④鋼材の置き方、整頓が不良だったこと。鋼材が入荷した際、正しく・安全に置くよう管理していなかったこと、など。

(3)同種災害の防止対策 例

- ①玉掛けのフック及びワイヤー等は安全な高さまで巻き上げて移動する。
- ②鋼材等の置き場は常に整理整頓が徹底されるよう置き方等を規定し、作業手順で定める。
- ③玉掛け作業資格者(技能講習修了者)は、常に基本・規定の作業方法を実践する。
- ④職場の悪習慣等は皆で注意し合い、とくに監督者等は部下の不安定な行動を黙認しない、など。

(4)環境安全部から

- ・玉掛け作業を行う際は「日本パーカライズング株式会社 構内作業安全基準書(制定2018年7月)」のP9～P10を参照して下さい。



5. ヒヤリハット事例

- ・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中に
どこで	小型化成ラインで
何をしている時に	自動車部品を油付け後、台車を運ぼうとした時
どうなった	重量が重く台車の車輪がうまく動かず、側溝の方へ移動し、ヒヤリとした